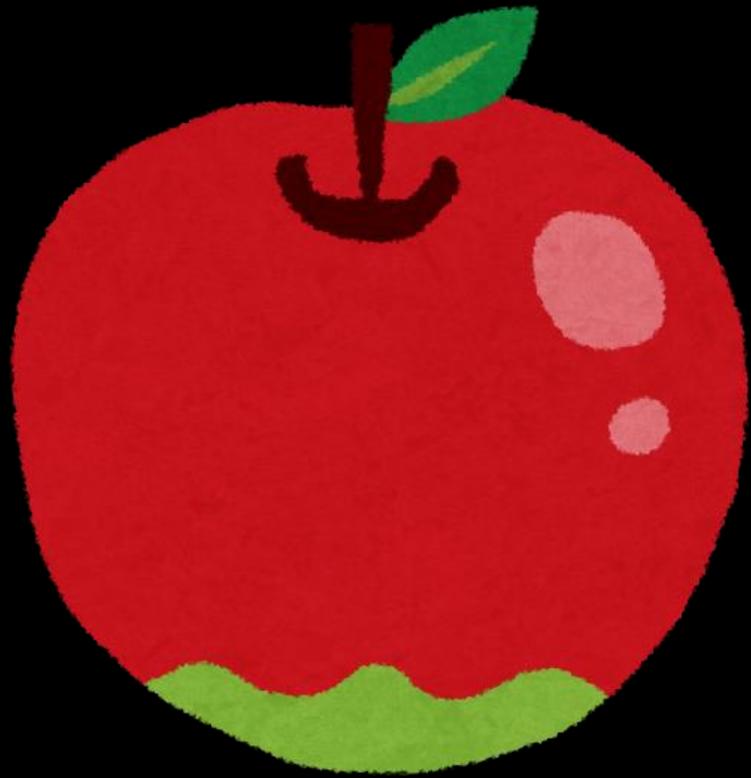


# クオリア問題

誤解の心理学

完全解決



# クオリア問題

## 問題

クオリア：意識で感じている「赤い」や「痛い」といった質感

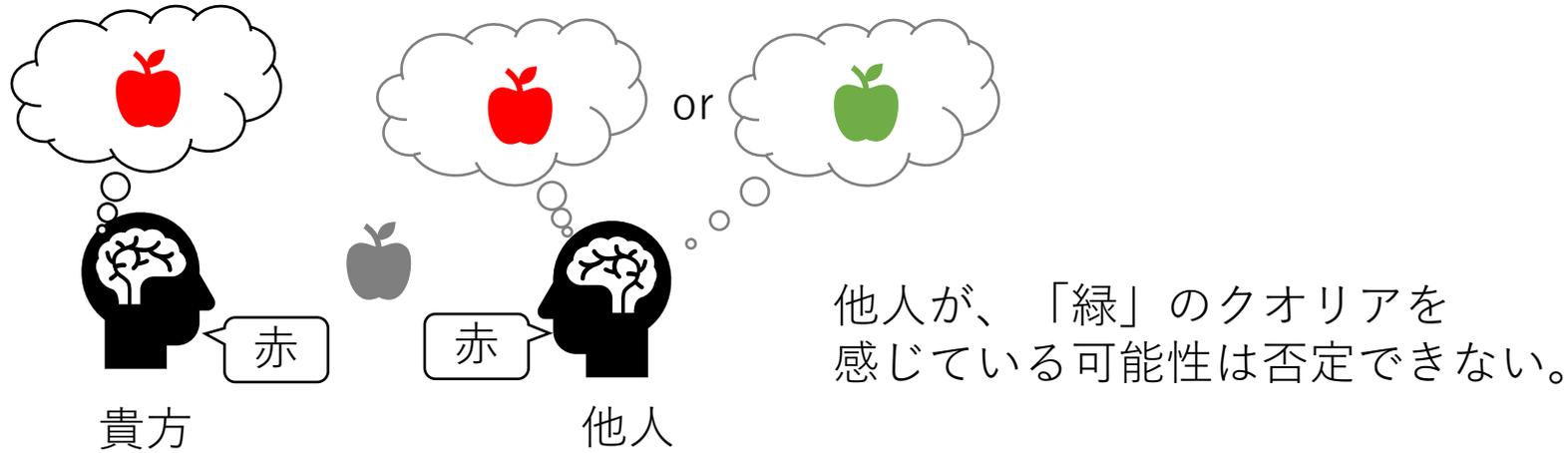
あるとか、ないとか意見が分かれる。



名探偵がクオリア問題を完全解決します。  
クオリアというのは、意識で感じている「赤い」や「痛い」といった質感のことです。  
クオリアはあるとか、ないとか意見が分かれるようです。  
どちらが正しいかということだけでなく、なぜ間違えるのかという心理を解説します。

# クオリア問題

## 逆転スペクトル



クオリアは他人の主観であり、客観的に知ることはできない。

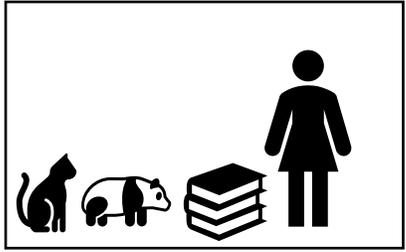
= クオリアは物理的な世界には一切影響を与えない。

クオリアを仮定して議論することに意味がない。(存在しない)

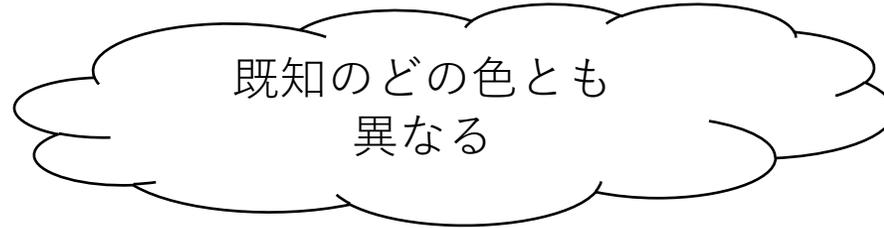
逆転スペクトルという思考実験を説明します。  
貴方は、リンゴを見て「赤」のクオリアと感じ、「赤」と答えたとします。  
他の人もまた、同じものを見て、「赤」と答えたとします。  
その人が、「緑」のクオリアを感じている可能性は否定できません。  
「緑」のクオリアを「赤」と呼んでるのかもしれませんが。  
クオリアは他人の主観であり、客観的に知ることはできないとします。  
それは、クオリアは物理的な世界には一切影響を与えないと言い換えることができます。  
そのため、クオリアを仮定して議論することに意味がないという人がいます。  
そういう意味で、「クオリアは存在しない」という人がいます。

# クオリア問題

## メアリーの部屋



メアリーは、  
「白」と「黒」しか見えない部屋で育ちました。



客観的にみれば、クオリアとは区別可能な状態にすぎない。

メアリーの部屋という思考実験を説明します。  
メアリーは、「白」と「黒」しか見えない部屋で育ちました。  
初めて「赤」を見たとき、今まで感じたことがないことを感じるでしょう。  
それがクオリアの証拠だという主張がありますが、正しくありません。  
メアリーは、ただ既知のどの色とも異なるとしか認識できません。  
客観的にみれば、クオリアとは区別可能な状態にすぎません。

# クオリア問題

## 三つの立場

(1) 客観的に知ることができないなら、議論する意味がない。

なくとも、この世の全てを客観的に説明できるなら、存在しないのと同義。

(2) 客観的に知ることができないだけで、確かにクオリアは存在する。

私が実際に感じている事実が、クオリア存在の証拠です。

科学は万能ではなく、知らない何かがあることは否定できません。

(3) クオリアは客観的に推定できる。

この、第三の立場について説明していきます。

クオリアについては、大きく三つの立場に分けられます。

(1) 客観的に知ることができないなら、議論する意味がない。

なくとも、この世の全てを客観的に説明できるなら、存在しないのと同義。

(2) 客観的に知ることができないだけで、確かにクオリアは存在する。

私が実際に感じている事実が、クオリア存在の証拠です。

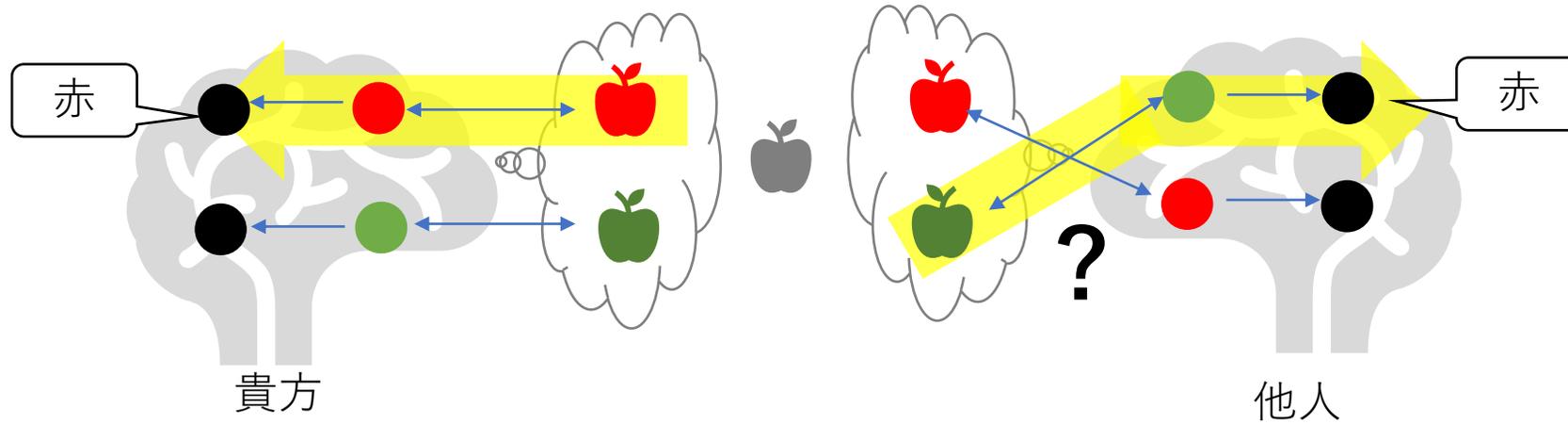
科学は万能ではなく、知らない何かがあることは否定できません。

(3) クオリアは客観的に推定できる。

この、第三の立場について説明していきます。

# クオリア問題

## 脳内

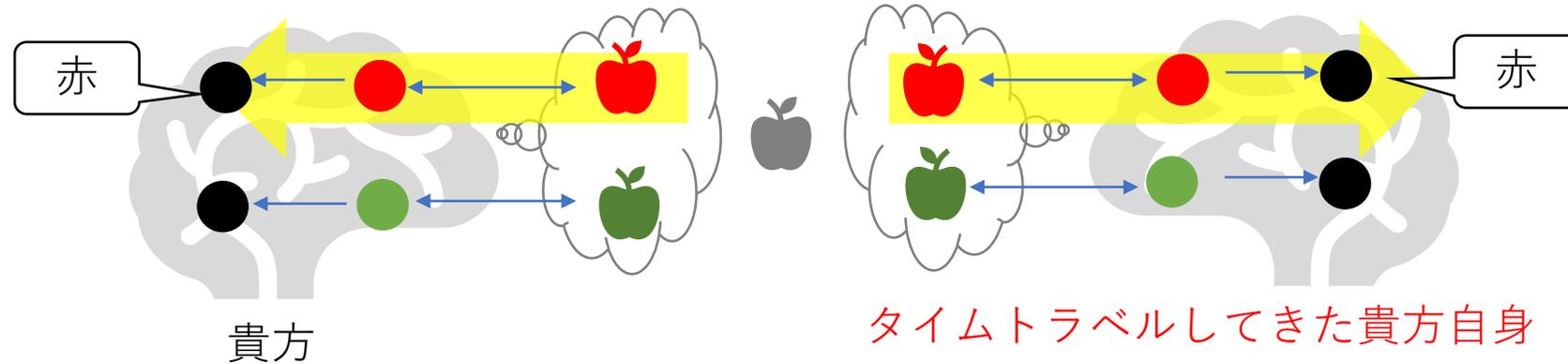


「赤」のクオリアを感じている状態は、そのニューロンが発火している状態に対応。

他人の場合、発火しているニューロンは「赤」ではなく「緑」のクオリアに対応したものである可能性は否定できない。

逆転スペクトルの思考実験のときの脳内の状態を考えます。  
赤い物体を見たとき、あるニューロンが発火します。  
「赤」のクオリアを感じている状態は、そのニューロンが発火している状態に対応します。  
そのニューロンは、「赤いという言葉」にも接続されています。  
同様に、「緑」のクオリアに対応したニューロンもあります。  
他の人もまた、同じ物体を見て、「赤い」といったとします。  
その人もまた、「赤いという言葉」にも接続されたニューロンが発火します。  
ですが、そのニューロンは「赤」ではなく「緑」のクオリアに対応したものである可能性は否定できません。

# クオリア問題



物理的に脳が同じなら、感じるクオリアも同じ。

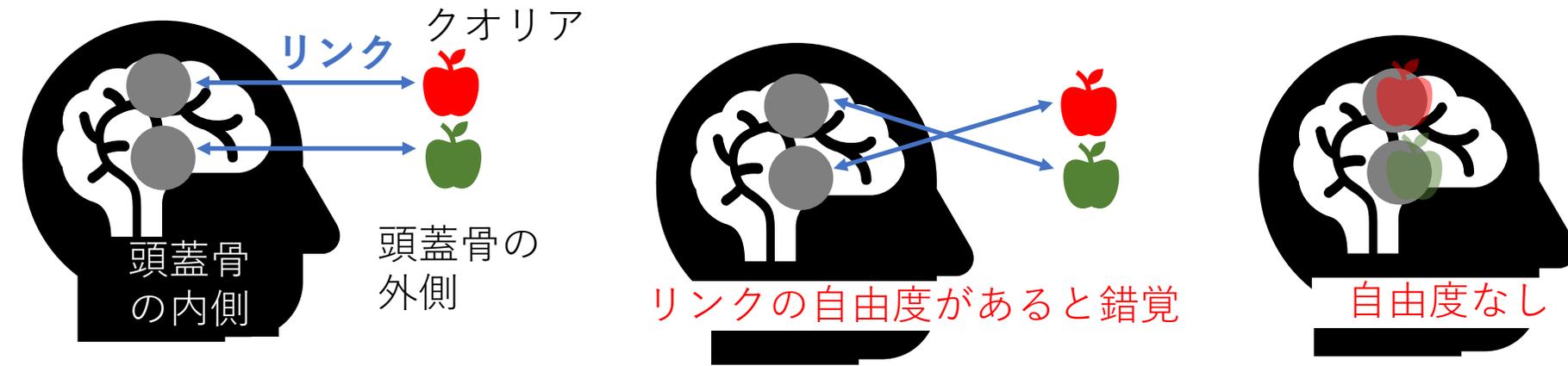
全く同じでなくても、脳が似ていれば、クオリアも似ていると推測できる。

他人の主観は、直接見ることができないだけで、推測することはできる。

もし、その他人が、タイムトラベルしてきた貴方自身なら、どうでしょうか？  
未来の自分が、赤い物体を見て、「緑」のクオリアを感じるとは思えません。  
物理的に脳が同じなら、感じるクオリアも同じだと理解できるでしょう。  
わざわざタイムトラベルする必要もありません。  
今の貴方と、1ピコ秒前の貴方を比較すると、脳が同じなので、感じているクオリアも同じです。  
全く同じでなくても、脳が似ていれば、クオリアも似ていると推測できます。  
他人の主観は、直接見ることができないだけで、推測することはできるのです。

# クオリア問題

## 誤解の心理



頭蓋骨の内側と外側で、遠隔の現象がリンクしていると解釈。

二つは別の現象だと解釈すると、異なったリンクをする自由度があると錯覚。

全く同じ現象について、別の表現がされているだけ。

誤解の心理を解説します。  
貴方は、リンゴが存在する座標に、赤いクオリアを感じます。  
そのクオリアは、頭蓋骨の内側のある状態に対応していると説明を受けます。  
頭蓋骨の内側と外側で、離れた位置の現象がリンクしていると解釈します。  
他人の場合は、異なったリンクをする自由度があるように思います。  
実際には、そのような自由度はありません。  
物理的に脳の状態が決まれば、主観的なクオリアも決まります。  
それは、全く同じものについて、別の表現がされているだけです。  
主観的には、空間的に離れているので、別々のものだと考えてしまうのが誤解の原因です。

# クオリア問題

## 問題設定の問題

他人の主観について、  
何一つ知ることができないと仮定するからおかしくなります。

他人の主観について、真実を直接知ることができないだけで、  
推定して知ることはできます。

目で何かを見たとき、網膜に入った光子から、  
物体の色を間接的に推測しているだけです。

我々が知っていることは全て推測であり、真実は何も知らないのかもしれない。

真実と呼ばれているものも、推測の一つにすぎないのでしょう。

真実はいつも一つとは限らない。

意見が衝突するのは、問題設定に問題があります。  
他人の主観について、何一つ知ることができないと仮定するからおかしくなります。  
他人の主観について、真実を直接知ることができないだけで、推定して知ることはできます。  
そもそも真実とは何でしょうか？  
目で何かを見たとき、網膜に入った光子から、物体の色を間接的に推測しているだけです。  
我々が知っていることは全て推測であり、真実は何も知らないのかもしれない。  
真実と呼ばれているものも、推測の一つにすぎないのでしょう。  
真実はいつも一つとは限らない。  
以上です。

# お問い合わせ先

お問い合わせは、  
こちらからお願いします。

<https://ultagi.org/>